

アピール

すべての子どものゆたかな学びを保障する 自主的・組織的な教研活動の充実を！

わたしたちは、第 74 次教育研究全国集会を神奈川・東京の地で開催し、全国各地からのべ 11,000 人の参加者が集いました。今年度より全体集会は Web で行い、幅広い参加形態となり、多くの組合員等への発信となりました。

全体集会では、「戦後 80 年、今、未来に伝える平和」というテーマで、「継承」の観点から記念講演を行いました。講演では、「被団協」のノーベル賞受賞を「核なき世界」へとつなげていくために私たちが今すべきことは何か、戦争、差別をはじめとする人権侵害など不条理の構造に気づく力を養うことの重要性が語られました。また、これまで教育現場で紡がれてきた平和教育・平和学習については、学校だけではなく、市民や団体などとつながりながら継続・発展させてほしいとの願いが伝えられました。

分科会では、「カリキュラム・オーバーロード」にある中、分会から積みあげ、組織教研で深められたリポートをもとに討議が行われました。また、昨今の自然災害に伴う防災・減災教育や、「学校の働き方改革」にむけての職場での改善例などのとりくみも報告されました。子どもの教育を受ける権利や人権等の観点から、自分の実践を見つめ直し、なかまから多くのことを学ぶ機会になりました。

特別分科会では「日本に住む多文化の子どもと教育」というテーマで講演とシンポジウムを行いました。外国につながる子どもたちが増えるとともに多言語化している中、ともに生きる社会の構築のために、学校・多文化の家庭・地域社会など社会全体で連携を深める必要性を確認し、今後の多文化共生社会の中での学校の創造にむけ考えを深める場となりました。

今次教研では、各地域における教育課題を改めて共有するとともに、ゆたかな学びを保障する教育実践について討議・交流を行いました。これからも、全国のなかまとともに、平和・人権・環境・共生を柱に、憲法・子どもの権利条約の具現化と民主教育の確立にむけ、教育実践をよりいっそう充実・発展させていきましょう。

2025 年 1 月 26 日
日教組第 74 次教育研究全国集会